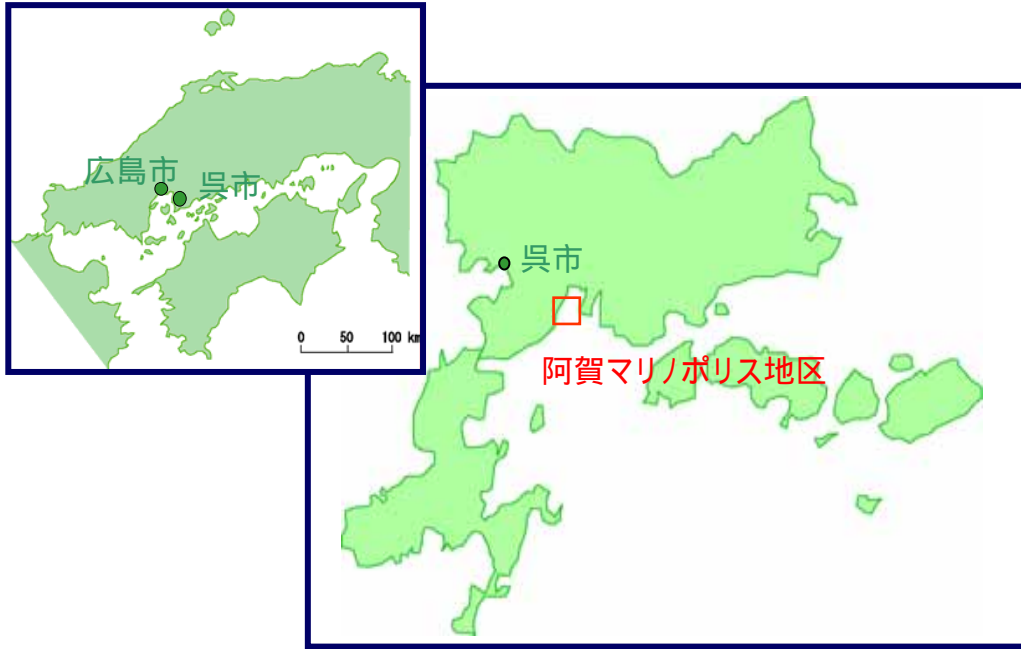


# 実証試験実施場所



**周辺環境**  
 水質: SSは2~7mg/lである。下層では10mg/lを越える事もある。DOは6.1~9.9mg/lである。  
 底質: 静穏度が高く、浮泥が堆積しやすい状態である。底質は、シルト質であり一般項目については以下の通りである。pH: 8.0, COD:11mg/g, 強熱減量5.1%, 総硫化物: 5.1mg/g, 含水率:30.9%。  
 底生生物、植物等: ダルマゴカイやシズクガイのような富栄養化海域の指標種となるような底生生物が確認されている。また、干潟ではイソゴカイやヒメスナホリムシが優占している。海草藻類では、過去においてはアマモ群落やホンダワラ類の生育が確認されていたが、現在の生育状況の詳細は不明である。

